

100

あ あ 中 央 わ れ ら が 中 央

創立100周年記念式典・祝賀会



創立50周年記念講堂 1935(昭和10)年8月落成



図書館 1930(昭和5)年11月落成

式典

- 1 物故会員に対する黙祷
- 2 支部長式辞……………支部長 小畑 悟
- 3 来賓紹介
- 4 来賓祝辞
- 5 歴代支部長・幹事長への感謝状贈呈



●歴代支部長 柴田 久雄様 (昭和25年卒)
(昭和61年～平成5年)

金野 和子様 (昭和29年卒)
(平成5年～平成7年)

伏見 晃一様 (昭和32年卒)
(平成7年～平成9年)

加賀谷 殷様 (昭和40年卒)
(平成9年～平成13年)

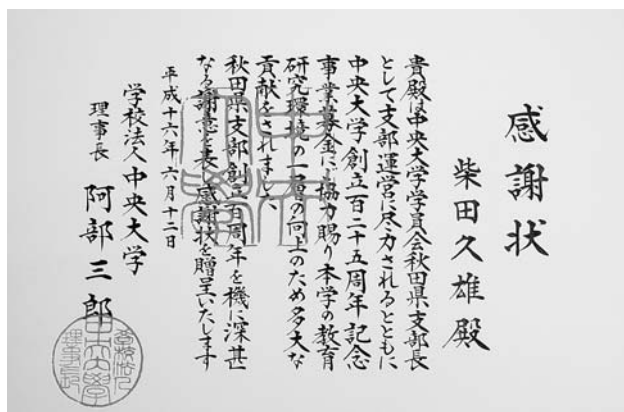


●歴代幹事長 豊口 祐一様 (昭和39年卒)
(昭和54年～昭和61年)

藤林 弘一様 (昭和42年卒)
(昭和61年～平成5年)

田口 昭一様 (昭和43年卒)
(平成5年～平成10年)

加藤 伸一様 (昭和48年卒)
(平成10年～平成14年)



支部長式辞

秋田県支部 支部長 小畑 悟

中央大学阿部理事長をはじめ、大勢の来賓並びに諸先輩、同窓会員の諸兄ご臨席のもとに中央大学秋田県支部 創立100周年記念式典、祝賀会を開催できますことは、大いなる喜びであります。

明治37年5月14日中央大学秋田県支部が創立されました。

阿部理事長さんからお聞きしたのですが、6名の同窓生が中心となって創立したとのことであります。

100年前の秋田は自動車も無く電話も普及しておらず、諸事につけ、今と比べたら大変不便な時代であります。

そういう時代にあって、中央大学に学んだ縁を大事にし、大学と地元秋田の発展のために尽くそうという意気に燃えた青年有志の呼びかけによる集まりであり、創設だったと思います。

爾来、秋田県支部は大学の発展、スポーツ、学問、文化の振興に物心両面にわたり貢献してきました。又、学員会同志の交流、絆も強く、毎年学術講演会、その他諸事業を行うなど今日では全国有数の活力ある支部となっておりますことは皆様ご承知の通りであります。

「ローマは一日にしてならず」と言われますが、これもひとえに発足した6人の先人の情熱を引き継いだ歴代の支部長さん、幹事さん、そして先輩会員の弛まぬご努力、そして大学当局の支部に対する絶大なるご指導ご協力の賜物と存じます。

「温故知新」本日の100周年記念式典、祝賀会は、伝統と栄光に満ちた大学と秋田県支部の100年を振り返り、又先輩のご苦勞に思いをいたし、これからの大学の発展、そして秋田県支部の発展を願う有意義な楽しい会にしたいと存じます。

最後になりましたが、これまでの皆様のご指導に重ねて感謝し、敬意を表したいと存じますとともに今後一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げ開会のご挨拶とさせていただきます。

理事長祝辞

学校法人中央大学 理事長 阿部 三郎

中央大学学会秋田県支部創立100周年を迎えられましたこと、心から敬意を表し、また、お祝い申し上げたいと存じます。

秋田県支部は、明治37年5月14日に発起人の方が6名で支部を設立されたとお聞きいたしました。秋田県支部創立100周年の総会出席に際し、どうい経緯で明治37年に支部が設立したのかということと大学の100周年の歴史を紐解いてお調べをいたしました。

中央大学の設立当時の明治18年から明治22年9月までを「英吉利法律学校」の校名、明治22年10月から「東京法学院」に校名を改称致しました。そして、明治36年に「東京法学院大学」と改め、同時に学長制を新設し、盛岡市ご出身の菊池武夫先生がご就任されました。その2年後に「中央大学」と校名を変えたということが資料に載っております。

秋田県支部の設立は「中央大学」に改名される前年の明治37年5月、つまり東京法学院大学時代ということが分かりました。

この校名の改称につきましては明治36年、この当時どうい経緯があったかということになります。「東京法学院大学」に改めたものの当時から学内で大きな問題があったということです。この当時、明治35年に我国は日英同盟協約の調印、また、国運を賭け日露戦争前の交渉の問題、国内では軍事生産を基調とする産業界の活況と進展などから、最早経済をぬきに政治は語れないという事情から創学以来法律学一科専門の教育に固執していたのでは新しい時代に対応できないということで校名を「中央大学」に改めました。そしてさらに、新しく本科と専門科とを分け、法律学科の他に経済学科を新設いたしました。

しかし、どのような経緯で「中央」という名前が用いられたのかという事は、諸説が色々ございます。

まず、日本の学術の模範となるような中枢たるべき大学を期したい、期すべきであるという説。また、大学の所在地の神田は東京の中央であり、まさに日本の中央でもあるという説。或いは、創立者増島先生・岡村先生・土方先生等々が学ばれましたイギリスのミドルテンプレのインズオブコート、これを中央法院と翻訳され、そのミドル即ち中央、そこから生まれたものであるというご見解もあるようでございます。いずれにいたしましても「中央大学」と改めた年が明治38年であり、創立20周年に当たる年でありました。学院を中心として20周年記念の事業を行うことを決定し、そして大学名称を改正した記念行事を行いたいと明治37年に東京法学院大学の院友会大会において、その行事が決定され5つの項目を決定されております。

1番目に記念講堂を建築する。建築費の見積は15,000円。

2番目には記念会の費用は総て院友の寄付とする。

3番目には寄付金は明治38年1月より6月迄の6ヶ月間に払い込む。

4番目には記念式を挙げる。

最後、5番目には寄付金・建築・記念式に関する事項は院友会より委託するべきものと決定して、全権を委任することという決定事項になっております。

このようにして、「中央大学」と校名を変え、創立20周年記念行事内容が決定されました。そして、寄付金は明治38年1月より6ヶ月間で募金をするということになり、この決議を受けて当時の秋田県のご当地にも院友になられる方がおられ、こういう方々が集いまして、秋田県支部を設立し、名称を「中央大学」に改めること、そして創立20周年を迎えるということで、ご当地に秋田県支部の設立となったということとを私は推測いたします。

従って、秋田県支部には非常に素晴らしい大先輩達がおられたことは間違いないということになると思います。

もう一つご紹介申し上げながら御礼を申し上げたいことがございます。それは、柴田久雄先生のごことでございます。柴田先生は私と大学の同期で昭和25年法学部の卒業でございます。卒業以来、同じ弁護士仲間として親しくご交誼を頂戴しております。

柴田先生のご尊父廣吉先生は中央大学の創立者菊池武夫先生と共に弁護士となられましてからご活躍され、今回ご尊父廣吉先生のご遺品を整理されている際に見つけれられた、明治38年当時の院長(学長)菊池武夫先生の貴重な資料と貴重な裁判資料を中央大学へご寄贈していただきました。そして、20年ほど前にも菊池先生の胸像をご寄贈され、その他にも菊池先生にまつわる歴史的価値のあるものを多数ご寄贈されておりました。

柴田先生の今までの数々のご寄贈に対しまして心から御礼申し上げたいと思います。

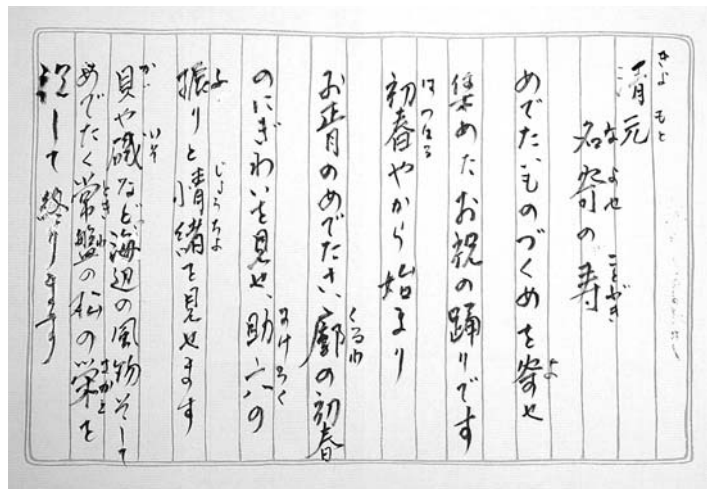
最後に、今回私が秋田県支部総会の出席に際し非常に感銘を受け、そしてまた心から敬意を表しながら参加させていただきました。ありがとうございました。

祝賀会

1 祝いの舞

清元「名寄の寿」

立方 佐藤恵子(秋田県支部理事・昭和47年卒)こと猿若聖花



「名寄の寿」解説(猿若聖花 筆)

2 乾杯(鏡開き)・祝宴

3 校歌斉唱

4 閉会の挨拶

……………副支部長 高橋 祐之助



100周年記念親睦ゴルフ大会

副幹事長 加賀谷 英明
(昭和53年卒)

今回のゴルフコンペは例年、記念講演、総会の前に同日行ってしまうところを、100周年ということで総会の次の日の日曜日に行うことになりました。本年も秋田椿台カントリークラブ社長の伊藤彊先輩にお世話になり、晴天の中、諸先輩の素晴らしいプレーが進んでいきました。総勢18名の中、優勝は加賀谷殷先輩、準優勝はなんと78のハイスコア、バスグロで住谷一男先輩、3位は小畑悟支部長という結果になりました。参加者全員の参加賞は、特注した各先輩のフルネームと中央大学秋田県支部100周年と彫った木札のストラップ、商品も全ての方に京扇子が渡り、その他も日本的な賞品がゴルフコンペの賞品としては珍しい取り合わせとなりましたが、扇子にストラップをつけていただくと洒落ていますよと私が説明すると、さすが呉服屋と皆さん納得、なかなかいい幹事だとお褒めの言葉を頂きました。次年度からはもう少し参加人数を増やし、是非とも私(49歳最年少)よりももっともっと若い人がいっぱい参加してもらおうよう、皆さんで声を掛け合って盛大に、華やかにしていきたいと感じました。

順位一覧表

2004年6月13日(日)

2.新ペリア オフィシャルHD使用しない HD使用率100%
ハンディ上限男性[36.00] 女性[36.00]上限をパー2倍までとする。同一ネットの優先順位[年齢別 ハンディ別]

順位	氏名	さつき	さくら	トータル	HDCP	ネット
1	加賀谷 殷	43	49	92	19.20	72.80
2	住谷 一男	40	38	78	4.80	73.20
3	小畑 悟	41	42	83	9.60	73.40
4	千葉 利則	41	42	83	9.60	73.40
5	高橋 輝義	52	46	98	24.00	74.00
6	東 佑浩	39	46	85	10.80	74.20
7	加賀谷芳春	40	40	80	4.80	75.20
8	田口 剛生	45	51	96	20.40	75.60
9	伊藤 久一	48	42	90	14.40	75.60
10	佐藤 通俊	50	49	99	22.80	76.20
11	加藤 伸一	58	45	103	26.40	76.60
12	吉田 重信	43	44	87	9.60	77.40
13	中嶋 道生	41	44	85	7.20	77.80
14	諸橋 磯光	44	47	91	13.20	77.80
15	加賀谷英明	49	44	93	14.40	78.60
16	平澤 敦夫	49	52	101	21.60	79.40
17	久米田和太郎	47	44	91	9.60	81.40
18	土方 博生	49	47	96	14.40	81.60

●コース 2さつき
3さくら

●隠しホール 1 2 3 4 6 9
10 11 12 13 14 15

秋田椿台カントリークラブ

講演会・総会・記念式典・祝賀会スナップ









